

エゾリスたちがすむ 帯広の森を育もう

帯広市では市街地を囲む森を市民の手で造ろうと、多くの市民の積極的な参加の下、昭和50年から100年計画で森造りが進められています。造成開始から50年近くが経過した現在、帯広の森はエゾリスが生息するほど緑豊かな森林となりました。主催者から帯広の森や「エゾリスの会」の活動についての説明の後、森に生息する動植物についての話があり、参加者は興味を持って聞き入りました。座学の後はいよいよ外来種チヨウセンゴヨウマツの実生苗の抜き取りをしていきます。